

第2回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウムの プログラムを発表します！

復興庁では、浜通り地域等における生活環境向上のための実証事業プログラム「浜通り復興リビングラボ」を今年度から開始しています。このプログラムは、民間企業等の最先端の知見や技術、ノウハウを活用するため、民間企業と地元自治体が強力に連携するとともに、福島国際研究教育機構（F-REI）や福島県等のパートナーからもご支援をいただいで実施しております（別紙1）。

リビングラボは、生活の場を実験場としてイノベーションを実践するプログラムであり、このプログラムを通じて、生活環境向上のための官民パートナーシップが浜通りに形成されることが期待されます。

令和5年度は、市町村の課題説明に応じ、民間企業14社から12の実証事業のご提案があり、7つの実証事業（民間企業9社、9市町村）が、市町村と民間企業のパートナーシップにより実施されております（別紙2）。

リビングラボ実証事業の今年度の進捗状況や課題等を共有し、今後の方向性を議論するため、以下の通り、第2回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウムを開催します（プログラム等の詳細については別紙3、4）。浜通りの復興に向けた官民連携の取組にご関心のある多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和6年2月28日(水) 13:30～17:00

会場：富岡町文化交流センター 学びの森

（住所：福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622-1）

内容：・開会挨拶

- ・「浜通り復興リビングラボ」今後に向けて（復興庁）
- ・令和5年度「浜通り復興リビングラボ」実証事業の進捗状況報告
- ・官民共創型まちづくり事業の先進事例
- ・ハイレベル・セッション「浜通り地域等におけるリビングラボの方向性」
- ・閉会挨拶

【お申し込み方法】

参加希望の方は、下記の問合せ先まで令和6年2月16日(金)18時までにご連絡ください。
定員に達した場合、締め切りさせていただくことがありますので、お早めにご登録ください。

●取材について

- ・当日の取材を希望される社（者）は、社名、取材代表者氏名、取材予定時間、カメラ撮り希望の有無（有の場合はスチール or ムービー）を、復興庁原子力災害復興班（まちづくり担当）（TEL：03-6328-0246）まで事前に登録してください。

（登録締切：2月26日）

- ・取材に当たっては、現地担当者の指示に従ってください。
- ・取材される方は、必ず社名入りの腕章を着用してください。

【お申込・問合せ先】復興庁原子力災害復興班

（まちづくり担当） 富澤、中村、守谷、田辺

TEL：03-6328-0246 E-MAIL：g.machi.v5f@fukko.go.jp

(参考) 浜通り復興リビングラボ構想

浜通り復興リビングラボ ～サイエンス×官民共創まちづくり～

背景・目的

- ・福島国際研究教育機構(F-REI)が浜通りに立地することにより、国内外から研究者やその家族が浜通りに移住・定住することが想定され、浜通りでは、従来の住民や移住者のもとより、今後来訪する研究者のためにも**生活環境を向上**させていくことが期待される。
- ・F-REIにおいて、多くの実証事業が浜通り地域において実施されることとなり、**地元の実証事業受入能力の更なる向上**が必要。
⇒最新のサイエンスやテクノロジーを積極的に活用し、**住宅、医療、教育、交通、買物等の生活環境に係る地域課題の解決**につなげることをめざすとともに、**浜通り地域における実証事業受入能力向上**を支援するため、「浜通り復興リビングラボ」事業を実施する。

浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～

住む（住宅）、出かける（交通）、学ぶ（教育）、癒やす（医療）、楽しむ（買物・娯楽等）といった生活環境分野で、**産学官の協働のもと、実証事業の企画・実施を行い、地域における生活環境向上**につなげる。



R5年度スケジュール

- 8月：実証事業参加企業公募開始
8月8日 公募企業向け説明会 (地域課題共有)
8月19日 現地視察
- 9月：マッチング会議発表企業決定
9月19日 第1回シンポジウム
9月19日 マッチング会議
- 12月：実施プロジェクト決定・発表
実証事業企画調整
調整が整った事業から順次実施 (実施は次年度以降でも可)
- 2月：専門家による実証事業総評
2月28日 第2回シンポジウム

参加の主なプレイヤー(自治体)

- ・民間企業の知見や財源を活用しながら、地域課題を民間企業と共に最新技術で解決する、**地元主体のまちづくり**を実現できる。
- ・未来のまちの姿に向け、地域住民が**新商品・サービス・ビジネスモデルを使ったより良い暮らしを一足先に体験**することができる。
- ・実証から実装へ向けた展開を支援することにより、浜通りにおける**地域課題の解決**、ひいては**F-REI研究者受け入れ環境の向上**につなげられる。

参加の主なプレイヤー(民間企業)

- ・地域住民が生活の中で抱える課題に即して、**新しい商品・サービス・ビジネスモデルの開発**を行うことができる。
- ・参加者募集や関係団体等との調整など、**受入自治体や復興庁、専門家の支援**が得られる。
- ・「福島復興」という**社会的意義のある目標**に貢献できる。
- ・技術的な課題について、**将来のF-REI研究との連携も視野**に入る。

浜通り復興リビングラボ【令和5年度実証事業】



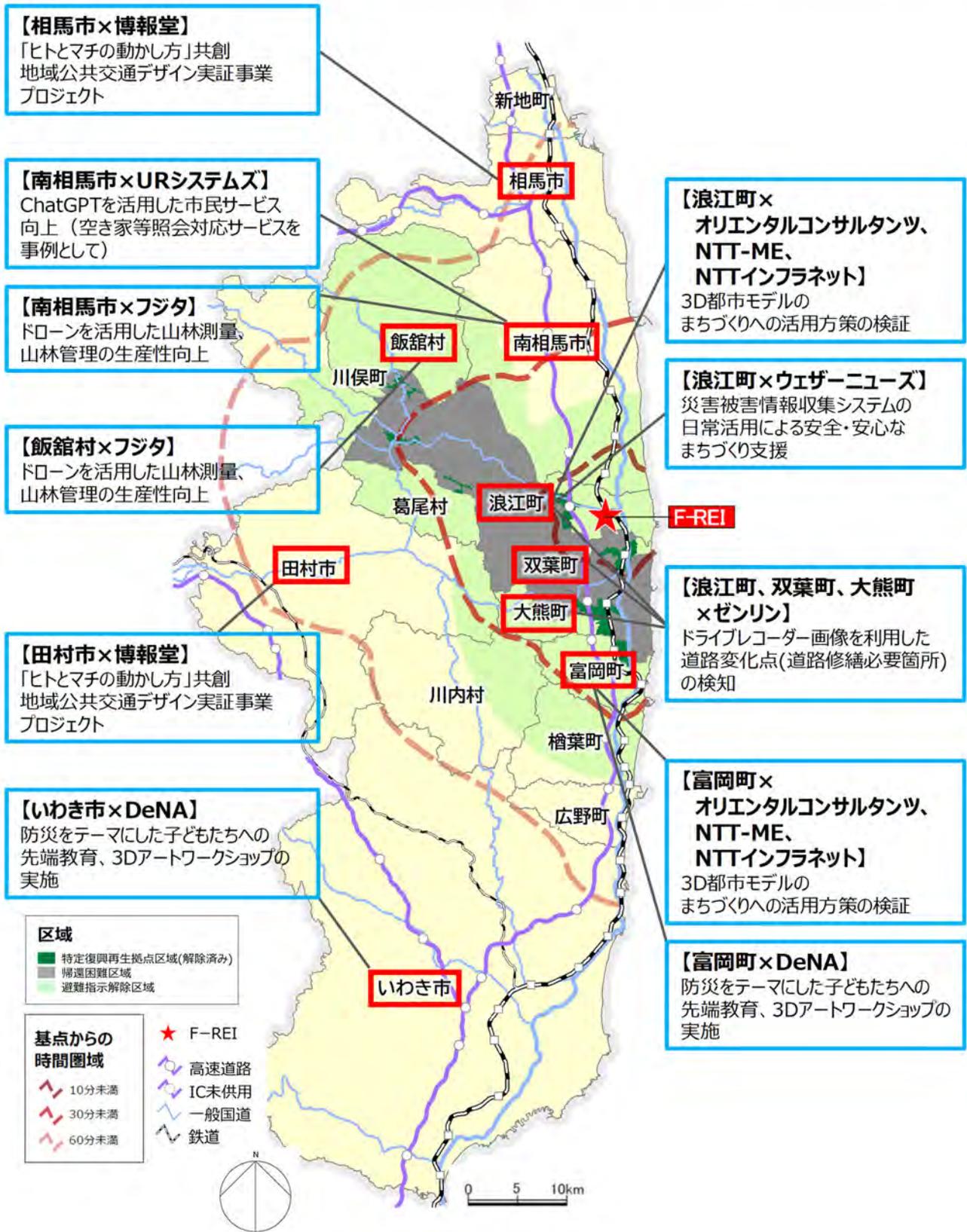
復興庁

Reconstruction Agency
復興・創生 その先へ

(参考) 浜通り復興リビングラボ 令和5年度実証事業

社名		実証事業概要		実施自治体	
1	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 株式会社NTT-ME NTTインフラネット株式会社	3D都市モデルのまちづくりへの活用方策の検証 (富岡町)「夜の森地区」において3D都市モデルを用いたデータ基盤例を構築し、桜まつりの事前検討への活用を検討する。また、夜の森地区の復興まちづくりに寄与する活用の在り方を検証する。 (浪江町) F-REI(事前町)としてまちづくりを検討している地区において、3D都市モデルを用いたデータ基盤例を構築し、データ取得や管理方法などまちづくりに寄与する活用の在り方を検証する。	富岡町 浪江町		
2	株式会社ウェザーニューズ	災害被害情報収集システムの日常活用による安全・安心なまちづくり支援 LINEチャットボット機能を利用し、災害時に住民からの被害状況を収集し防災／避難活動を支援するシステムを日常から住民に活用して頂くなど、平常時から地域の安心安全に繋がる情報プラットフォームの構築について検証する。	浪江町		
3	株式会社DeNA	防災をテーマにした子どもたちへの先端教育、3Dアートワークショップの実施 先端技術に触れる授業、ワークショップを通して、子どもたちに3Dアート作品を作ってもらい、避難場所等に配置・閲覧することによって、将来的に防災に役立つツールとして利用することができるのかを検証する。	いわき市 富岡町		
4	株式会社URシステムズ	ChatGPTを活用した市民サービスの向上 (空き家等照会対応サービスを事例として) 最先端のAI技術であるChatGPTを用いて、移住者による住宅についての問い合わせ対応の省力化を図るだけでなく、質問やその応答の分析を行うことで、市民サービス向上におけるChatGPTの有用性を検証する。	南相馬市		
5	株式会社博報堂	「ヒトとマチの動かし方」共創 地域公共交通デザイン実証事業プロジェクト 各自治体が抱える交通課題解決のために、現在の交通アセットを最大限有効活用した上でソリューションをカスタマイズし、公共交通事業者や住民と対話しながら地域交通をデザインするなど、各地の事情に応じた公共交通実証モデルを検討する。	相馬市 田村市		
6	株式会社ゼンリン	ドライブレコーダー画像を活用した道路変化点（道路修繕必要箇所）の検知 タクシー、公用車等で取得したドライブレコーダー画像とゼンリンの保有する地図情報を活用することで、道路の変化点を効率的に検知し、道路メンテナンス業務量を削減する仕組みを検証する。	大熊町 双葉町 浪江町		
7	株式会社フジタ	ドローンを活用した山林測量、山林管理の生産性向上 現在人力で行われている山林管理における測量作業や樹種等把握の効率化を図ることを目的として、ドローンを活用した林地管理手法が適用できるか実証する。	南相馬市 飯館村		

浜通り復興リビングラボ【令和5年度実証事業マッチング結果】



復興庁
第2回「浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～」シンポジウム
プログラム

日時：令和6年2月28日（水）13：30～17：00

会場：富岡町文化交流センター学びの森 大ホール（福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1）

※オンラインでのご参加も可能です。

参加費：無料

次 第

1 開会挨拶

2 「浜通り復興リビングラボ」今後に向けて

復興庁 原子力災害復興班 参事官（まちづくり担当） 石垣 和子

3 令和5年度「浜通り復興リビングラボ」実証事業の進捗状況報告

（報告）

- ① 株式会社オリエンタルコンサルタンツ、株式会社NTT-ME、
NTTインフラネット株式会社×富岡町、浪江町
- ② 株式会社ウェザーニューズ×浪江町
- ③ 株式会社DeNA×いわき市、富岡町
- ④ 株式会社URシステムズ×南相馬市
- ⑤ 株式会社博報堂×相馬市、田村市
- ⑥ 株式会社ゼンリン×大熊町、双葉町、浪江町
- ⑦ 株式会社フジタ×南相馬市、飯舘村

（講評）

福島大学 副学長補佐（福島国際研究教育機構担当）

食農学類

教授

東京大学 大学院 情報学環総合防災情報研究センター

客員教授

小山 良太 氏

東京大学 先端科学技術研究センター

准教授

三重大学 大学院 工学研究科建築学専攻

准教授

近藤 早映 氏

4 官民共創型まちづくり事業の先進事例

- ① MONET Technologies 株式会社 MaaS 推進部 担当部長 山本 竜也 氏
岩手県奥州市
未来羅針盤課 寄り添う奥州プロジェクトチーム 副主幹 菊地 徳行 氏
『医療』と『モビリティ』の掛け合わせで地域医療に新たな選択肢を与え、社会課題を解決する医療 MaaS ～奥州市におけるモバイルクリニック事業の事例～」

- ② パナソニック ホームズ株式会社
都市開発事業部 プロジェクト推進部 プロジェクト推進室
プロジェクト推進課 課長 熊谷 一義 氏
「パナソニック ホームズがチャレンジする『地方創生プラットフォーム創り』
について ～事例紹介 『UP DATE CITY Fukushima』の取組～」

5 ハイレベル・セッション「浜通り地域等におけるリビングラボの方向性」

パネリスト

福島国際研究教育機構 (F-REI)	理事長	山崎 光悦 氏
福島県富岡町	町長	山本 育男 氏
福島県浪江町	町長	吉田 栄光 氏
株式会社オリエンタルコンサルタンツ	代表取締役社長	野崎 秀則 氏
株式会社フジタ	代表取締役専務執行役員	浅川 正幸 氏

モデレーター

福島大学 小山 良太 氏

6 閉会

第2回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウム
令和5年度実証事業の進捗状況報告のコメンテーター及び
ハイレベル・セッションのパネリスト・モデレーター 一覧

コメンテーター・モデレーター

小山 良太 氏

福島大学 副学長補佐（福島国際研究教育機構担当）
食農学類 教授

東京大学 大学院 情報学環総合防災情報研究センター
（CIDIR） 客員教授



2002年北海道大学大学院農学研究科博士課程修了、博士（農学）学位取得。2005年より福島大学経済経営学類准教授。2014年同教授。2019年より食農学類教授、副学長補佐。東京大学大学院CIDIR客員教授、東日本大震災・原子力災害伝承館客員研究員、福島県地域漁業復興協議会委員、日本協同組合学会副会長、日本学術会議連携会員も務める。専門は農業経済学、地域政策論、協同組合学。主な著書、『福島に農林漁業をとり戻す』みすず書房 2015年、『放射能汚染から食と農の再生を』家の光協会 2012年など。

コメンテーター

近藤 早映 氏

東京大学 先端科学技術研究センター 准教授

三重大学 大学院 工学研究科建築学専攻 准教授



東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士後期課程修了博士（工学）、一級建築士、インテリアプランナー有資格
主な研究テーマは、各種地域計画（中心市街地活性化、公共空間整備のあり方や施設再編計画）、保育施設とまち、リビングラボにおける共創スキームなど。



パネリスト

山崎 光悦 氏

福島国際研究教育機構（エフレイ） 理事長

金沢大大学院工学研究科修士課程修了。工学博士（大阪大学）。前金沢大学長。2023年にエフレイ初代理事長に就任。

文部科学省の「国際卓越研究大学の認定等に関する有識者会議」のアドバイザー、「地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会」の委員長も務める。



パネリスト

山本 育男 氏

福島県富岡町 町長

1983年東京農業大学卒業。2000年より富岡町議会議員、2012年より富岡町議会副議長、2009年より富岡町商工会会長。2021年8月より現職（1期目）。双葉地方水道企業副企業長、双葉地方広域市町村圏組合副管理者も務める。



パネリスト

吉田 栄光 氏

福島県浪江町 町長

1982年福島県立双葉高等学校卒業。2006年より福島県議会議員、2017年より福島県議会議長。2022年8月より現職（1期目）。



パネリスト

野崎 秀則 氏

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 代表取締役社長

1982年入社。2000年より、グループ会社である(株)中央設計技術研究所の代表取締役社長を経て2005年に当社取締役、2009年より現職。2013年より、(株)オリエンタルコンサルタンツHDの代表取締役社長を兼務。2021年には(一社)建設コンサルタンツ協会会長に就任。建設コンサルタンツ業界の発展や知名度向上に尽力し、2023年より名誉会長に就任。



パネリスト

浅川 正幸 氏

株式会社フジタ 代表取締役専務執行役員

1979年 フジタ工業株式会社(現 株式会社フジタ)入社。九州支店、関東支店、東京支店、営業本部等で営業畑を歩み、2012年 同社執行役員営業本部営業副本部長、2015年 取締役 常務執行役員 営業本部長、2018年 取締役専務執行役員 営業本部長、2020年4月より現職。